



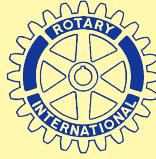
「富士山百景」茶園の茶娘

VOL. 2575 Rotary International

「変化する年度・第一歩」

第2575回例会 2017.5.10

ソング「四つのテスト」



富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30
例会場:ホテルグランド富士
TEL(0545)61-0360
事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1
ホテルグランド富士内
会長:小 出 隆 久
副会長:滝 克 芳
幹 事:岸 本 泰 次
副幹事:石 井 誠

会長挨拶

小 出 隆 久

吹き抜ける風もなんとなく心地よく感じる今日この頃となりました。

連休も終わり、平常事務の日々となりましたが、体調はいかがですか？

今日の例会は、前島ガバナー補佐及び事務局の穂坂さんをお迎えしての「ガバナー期末訪問」です。良い機会ですので、クラブ協議会を変更しまして、前島補佐より我が富士RCの分析結果と来期への改善点をまじえてお話をいただきたいと思います。

そして当年度も残りわずかとなりましたが、来期は、「自称 アルコール党」の滝さんが富士RCを引っ張ってくれます。今期より一層雰囲気の良い富士RCを期待しております。ありがとうございました。簡単ですが挨拶を終わります。

幹事報告

岸 本 泰 次

①例会変更のお知らせ

新富士RC 6/24(土) 期末例会 6/27(火) 振替休日
富士山吉原RC 6/15(木) 特別休会
6/29(木) 会長幹事慰労会 18:00 夜間例会

②ガバナー補佐より・IM報告書

・5月ロータリーレート 116円

③会報回覧 京都洛南クラブ

親睦委員会

野坂富士雄

会員誕生日 中 富 央 S48.5.13

お誕生日おめでとうございます

☆私のスマイル

池田正明君 歓迎会ありがとうございました。

たいへんお世話になりました。

榮賀 明君 楽しみにしていたゴールデンウィーク、体調をくずし、お金も出ませんでした。声も出ませんでした。



出席報告

野坂富士雄

2575回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
34名	34名	5名	29名	85.29%

2573回 4/12確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
34名	34名	1名	33名	97%

〔ビジター〕 前島正容君(ガバナー補佐)
穂坂勝彦君(ガバナー補佐随員)
池谷滋雄君(富士宮RC)

富士RCを訪問して

富士宮ロータリークラブ

穂坂勝彦氏



富士宮ロータリークラブ ガバナー補佐事務局の穂坂と申します。

今回、ガバナー補佐の随員として他のクラブへ訪問する機会を得て大変勉強になりました。これまで、他のクラブへのメイク等の経験が無かったためまるで海外旅行に行った時のように、他のクラブを通じ自分のクラブと比較しクラブの良さや足りない部分を見つめることが出来ました。

また、富士ロータリークラブ様に2度訪問させて頂いた事で、特に会勢を盛り返しておられる原動力とクラブの伝統を守りつつ、多様性を尊重し変革している取り組みに触れ、大変感銘を受けると共にまだまだ未熟なロータリアンである私自身も、これからのクラブ活動を通じて成長し立派なロータリアンになれるのかもしれないという勇気を頂きました。有難う御座いました。

例会プログラム予告

5月24日 新旧委員会・委員長引き継ぎ会

6月7日 裸会

卓 話

第3分区ガバナー補佐
前島正容氏



ガバナー補佐期末訪問

皆様こんにちは。ガバナー補佐として富士宮ロータリークラブから出向しております前島正容と、随行者の富士宮ロータリークラブ穂坂勝彦です。

本日は、本年度の活動の検証、富士RCの進捗状況、ガバナー補佐としての所感。結びに随行者の穂坂会員から「体験」を述べます。

本年度は国際ロータリーの「規定審議会」に大きな改定があり、その受け皿として計5回のクラブ訪問を実施しました。会員資格や例会回数の緩和、入会金・会費の見直し等に対し「クラブの裁量」としましたが、今後開かれたロータリーの第一歩と感じました。生子ガバナーの目標は【ロータリー戦略計画】でした。

1. 会員増強
2. マイロータリーの活用
3. ロータリー財団の寄付
4. ロータリー米山記念奨学会の支援
5. ロータリー公共イメージの向上
6. 地区事業への支援と理解
7. RI会長賞へ挑戦
8. 地区大会の参加
9. ポリオ撲滅
10. アトランタ国際大会参加

そのうちで第3分区の重点目標は

- ・「会員増強」とITを活用した「ロータリーの公共イメージの向上」
- ・ロータリーカード普及100%達成
- ・「財団を学び、活用する」
- ・「IMの参加」でした。

1. 会員増強：増強は組織を継承する為の原点です。「地域をよくし、困っている人に手を差し伸べる」こうした活動を共にする会員の加入と維持を目指すことでした。困っている人に手をさし伸べる気持ちは誰しもが持っています。その原動力は一人より二人、さらに十人、百人と大きな力がまとまると、その効果も大きくなります。一日24時間、一年365日世界中で良いことしているロータリーは、入会することで始まり、自ら行動することで充実した達成感が生まれます。

2. 会員増強のためのツールがITです。本年度は各クラブからIT推進者を選抜していただき、ITセミナーを開催し、IMのクラブ活動発表につながりました。大きな変貌を遂げている世界、その原点は「IT：Information Technology・情報技術」です。ロータリーは世界に開かれています。ロータリークラブの行動を広くアピールすることは、仲間づくりに大いに貢献します。そのためにクラブの事業を広く広報することが求められています。その成果のひとつがIMでのクラブ紹介でした。短い時間での表現は創意工夫が必要でしたが、同時に他クラブの事業が新しい刺激ともなり「ロータリーの公共イメージの向上」と、マイロータリーの情報収集について実践しました。

3. ロータリー財団を学んで活用：ロータリークラブ111年の崇高な奉仕を、世界は待っています。その原動力は一人ひとりの寄付行為の上に立っています。ロータリーは、今、世界にコミットメント(公約)できる、かけがえのない貴重な団体に育った証です。財団を理解し財

団を活用しましょう。またロータリーカードを持ち財団に貢献しましょう。

4. IM参加：本年2月26日に開催され、テーマは富士宮RCが永年培ってきた「青少年育成」とロータリー公共イメージを実践的に駆使する「各クラブ事業報告」でした。第一部は、今が旬の「高校生」でした。

① 富士宮高校会議所の活動報告、滋賀県立八幡商業高校(夫婦クラブ・近江八幡RC)「三方よしプロジェクト」報告、静岡県立富岳館高校の研究開発から「未来の可能性」を語っていただきました。

② 県東部地区に発足したプロサッカーチーム「アスルクラロ沼津」との共同事業。アスルクラロ沼津と台北東海RCの協力で、エコ・サッカーボール事業という国際交流事業を展開し、日本と台湾の子供たちの絆を深めることができました。

第二部は、ロータリー公共イメージの向上を目指して、第3分区9クラブの事業紹介について各クラブのIT推進者がPPTを工夫しての報告は見事でした。

その後の懇親会では静岡第3分区の交流が一層深まりました。ありがとうございました。

【富士ロータリークラブの活動】について述べます。

小出隆久会長「変化する年度・第一歩」と題し、クラブに活気と成長を促そうとしました。まず、職業奉仕では会員企業の訪問 大興製紙(株)様見学。会員を知り、そのあとの懇親会は「和」を図るうえで大いに役立つと存じます。社会奉仕は会員を巻き込んで様々な活動に工夫が感じられました。社会を明るくする運動、富士市産業まつり商工フェア、秋の交通安全運動に多くの会員の参加があり、クラブがまとまるという意味からも意義ある活動と感じました。岩本山公園整備は実に44年目、1150本の植栽です。加えて富士市立中央病院の赤ちゃん・子育て母親支援は、15年目で、病院との連携が深まっています。こうした両事業とも継続することにクラブ独自の努力が感じられ、支えている関係者にエールを送ります。広報事業公園入口の立て看板立替はロータリーの公共イメージの向上そのものであり、新看板の役割はロータリーを知ってもらう指針になると思います。

結びに【新たな組織について】ですが、私が入会時は地区全体で4500名のロータリアン数でしたが、現在3000名前後になりました。縮小した場合の組織の維持は活力の低下などの困難を招きます。そこで、次々年度より分区の「名称」を「グループ」にし、11分区から8グループに編成が進んでおります。さまざまご意見から当静岡第3分区は、静岡第2グループとなり、現在の9ロータリークラブに御殿場RC、長泉RC、裾野RCを加え12ロータリークラブ体制になります。

以上、本年度の事業を振り返って見ましたが、一年大変お世話になりありがとうございました。今後とも当2620地区へのご指導とご協力をお願い申し上げます。

